

『小菅村の動き』 vol.7

今年によく雪が降りました。小菅村は除雪作業が早いので閉じ込められることはありません。夏の台風シーズンの方が、いろいろあるんです。

①『第 25 回多摩源流まつり』開催決定～！

今年は例年どおり、5 月 4 日に開催されます。本会は『冒険学校 むらまつりキャンプ』を行い、お祭りの会場や小永田地区の神代神楽を訪れますよ。

夜には日本一のお松やきや花火(山に囲まれているのでよく響きます)もありますのでお楽しみに！！

植物と人々の博物館でも、展示や案内を行います。詳細は、小菅村役場ホームページをご覧ください。

<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/>

② 小菅川の釣り解禁

3 月 3 日の正午より、釣りの解禁となりました。まだ雪の残る小菅村ですが、多くの釣り人でにぎわったようです。小菅漁協のホームページもご覧ください。

<http://kosugeriver.com/> にブログもあります♪

③ 小菅村体育館がよいよ完成

植物と人々の博物館に隣接する、小菅中学校体育館の立て直し工事が進んでいました。この 3 月に、小菅村体育館としていよいよ完成します。



④山梨日日新聞(2月25日)より

村の中学生がデザインしました 小菅の湯せっけん、パッケージ新「源流の豊かな自然表現」

小菅村の温泉施設「小菅の湯」は、オリジナル商品として販売しているせっけんのデザインを一新した。小菅中の生徒がレイアウトや色付けを担当し、村内の豊かな自然をイメージしている。

イラストは新芽から滴がしたたり落ち、周囲にシャボン玉が浮かんでいる様子を描いている。デザインしたのは、小菅中 2 年生の大江友乃さん(14)、古菅竜司君(13)、古屋将君(14)の 3 人で、「多摩源流地域ならではの自然をPRするため、緑を前面に出したかった」と話す。



デザインを考案した小菅中の生徒

シャボン玉や滴など、パーツごとに各自がイラストを描き分け、1 枚の絵にまとめた。3 人は「小さいサイズなので、できるだけ分かりやすくなるように心掛けた」と話している。

せっけんは源泉と保湿成分を配合し、マイルドな肌触りが人気。3 年ほど前に販売を始め、当初は女性が入浴する写真がパッケージだったが「インパクトに欠ける」(担当者)と、中学生にデザインを依頼した。小菅の湯職員の古菅芳勝さん(47)は「大人には思いつかないアイデア。リピーターが多いので、人気商品として定着してほしい」と話している。



オリジナルせっけんの新パッケージ

せっけんは小菅の湯と隣接する物産館で販売し、100 グラム 650 円。